

冬もこの街で暮らしたい

福祉除雪サービスを利用する小林英夫さん(80歳)は藤野地区在住。この付近では、除雪で積み上げた雪が3m近い高さになる年もあります。小林さんは妻のヨシさん(81歳)と二人暮らし。小林さんは腰が悪いため除雪は体にこたえます。「雪は重たいですから、除雪はなかなかできません。雪が積もれば足跡をたどって歩くしかないんです」と話します。

冬場は外出の機会が少なく、まとめ買いをするため、徒歩で出掛ける小林さんにとって、買い物は足腰に負担が掛かる重労働。玄関先の除雪は外出のためだけでなく、転倒防止のためにも必要です。

小林さん宅の除雪を担当するのは



▲冬をこの街で過ごせるのは児玉さんのおかげと話す小林さん

児玉浩さん。30年来のご近所付き合いです。「児玉さんが雪かきをしてくれるので、雪が降っても安心していられます。とても心強く、助かっています。これからも福祉除雪サービスを利用しながら、冬もこの藤野で暮らしていきたいです」と小林さんは笑顔で話します。

雪が降ったら「さあ、やるぞー！」

除雪を行う地域協力員の児玉さん(72歳)は「健康管理を考え、冬場の体力維持も兼ねて協力員をしています。雪が降ったら『さあ、やるぞー』と気が張ります」と元気に話します。

児玉さんは40年以上藤野に住み、古くから近所の人たちと助け合いながら生活をしてきました。「この地域では、そのような下地があつて現在の福祉除雪事業の運営につながっていると思います。お年寄りや障がいのある人にとって、除雪がいかに大変なものか知ってほしい。私もいづれ除雪ができなくなつて、サービスを受ける立場になるかもしれませんが、次の世代の人たちに協力員になつてもらふためにも、日ごろから若い人たちのお付き合いを大切にしています」と近所同士の助け合いの

みんなで冬を支えよう！

少子高齢化に伴い地域協力員が不足しています。地域の支え合い事業にご協力ください。

〈お問い合わせ先〉  
南区社会福祉協議会  
☎582-2415



大切さや若い人たちへの期待をあつく語ります。



▲作業後に小林さんとお話するのも楽しみですと児玉さん

地域を支える若い力

澄川地区では、澄川中学校の生徒たちが学校を通じて地域協力員に登録し、除雪ボランティアとして活躍しています。

平成13年度から多くの生徒が協力しており、今シーズンは白幡十夢良君(区民のページ表紙)をはじめ12人の生徒が参加しています。

同校2年生の岸本理沙さんは、昨



▲地域のために頑張ります

シーズンに続きボランティアをしています。岸本さんは「私が除雪をするお宅の方とは、ボランティアを始めてからお話するようになりました。『いつもありがとう』と声を掛けてくれるので励みになります。これからは、子どもたちもお年寄りを支え、地域みんなで助け合っていくことが大切だと思います」と笑顔で話します。

